

平成17年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1324
事業コード		事務事業名	緑化推進事業	
根拠法令等	緑化木配布事業実施要綱	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	自然保護・緑化

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手 段	花苗や緑化木の配布及び公園・緑地の植栽工事により
想定する成果	緑化意識の高揚と緑化の推進に努める。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
花苗配布	年3回 6,940鉢	年3回 6,240鉢	年3回 7,400鉢
植栽工事	新井公園外2公園 595本 1,514,000円	中央公園外3公園 574本 970,200円	新井公園外2公園 356本 900,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	花苗配布本数（鉢数）	植栽工事の植栽本数
成果指標の説明	花苗配布本数（鉢数）	植栽工事の植栽本数

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	7,400鉢
	実績	6,940鉢	6,240鉢	—
成果指標 ②	計画	—	—	356本
	実績	595本	574本	—
事業費	事業費	5,198	4,000	3,336
	人件費	12,054	12,066	11,934
	(人数)	1.5	1.5	1.5
	合計	17,252	16,066	15,270
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	17,252	16,066	15,270

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	予算の削減により、枯補の材料等の確保のため他部署及び不要（残）材料を利用し経費の削減に努めている。
経済効率性	2	2	市民に花苗を配布することにより、美化啓発による緑化事業に貢献している。
事務効率性	2	2	花の育成については種から育成しており、手間を要するため効率の良い管理運営が必要である。
必要性	2	2	公共施設の緑化については、ボランティアの力を借りながら市も運用のサポート体制をとる必要がある。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	平成12年より花ボランティア活動を実施している。ボランティア以外の人からも花植についての問い合わせがある。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	快適で潤いのあるまちづくりを進めるためには行政のみでなく、市民の運動も必要であり、官民一体の緑化推進は必要な事業である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループによるマリロード、旭公園の花壇の定植以外に中央公園、北新田緑地等の定植を特定区域外に拡大し、公共施設への花いっぱい運動のグループの育成に努めた。 北新田緑地及び中央公園花壇管理において、業者に委託すると432千円で、ボランティアに係る費用は32千円（機材費）である。 	400千円 (432千円－32千円)

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動が浸透してきたためか、年々会員数が増加しておりボランティア保険の増額とボランティア作業の内容の見直しが必要である。 作業内容の向上を図るための指導員の育成が必要である。

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> 現在1人の職員が花苗の担当をしているが、花は生き物であり、毎日の手入れが必要のため、正規職員1人又は一般事務嘱託員1人の増員を必要とする。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】